



黒潮町議会議長
山本 久夫



黒潮町長
大西 勝也

新年の ご挨拶

新年明けましておめでとう
ございます。

皆さまには、健やかに新年
をお迎えのこととお喜び申し
上げます。昨年中は町政推進
に多大なるご理解とご支援を
賜り心より感謝申し上げます

さて、昨年を振り返ってみ
ますと、依然として日本経済
は低迷を続け、領土問題によ
る中国、韓国との関係悪化な
ど厳しい状況が続いています。
また、原発停止に伴う電気料
金値上げや消費税増税法案が

あけましておめでとうござ
います。謹んで初春のお慶び
を申し上げます。

町民の皆様におかれまして
は、穏やかな新年をお迎えの
ことと心よりお慶び申し上げ
ます。旧年中は黒潮町政の発
展に、また、議会に対しまし
ても格別なご支援ご協力を賜
り、厚く御礼申し上げます。
さて、黒潮町は、昨年全国
で最も高い34・4mの津波想
定高を受け、その対応に追わ
れた年でありましたが、そう

可決されるなど、今後の国民
生活への影響が懸念されると
ころであります。

12月に誕生した新政権には
日本経済立て直しのため金融
緩和や公共事業の拡大など閉
塞した経済状況に活力を与え
る大きな政策が図られること
を期待しております。

東日本大震災の被災地では、
今なお不自由な生活を強いら
れながらも、復興に向けた懸
念な取り組みが行われ、明る
い話題もいくつか届くように

いったなか、「犠牲者ゼロ」
の防災まちづくりを合言葉に
防災計画の見直しや防災整備
の加速化が増した年でもあり
ました。

東日本大震災では、復興の
中から人と人の「絆」が生ま
れ、1年9カ月が過ぎました。
震災からの復旧・復興につい
ての報道が少なくなるなか、
引き続き、被災した現地では、
様々なところで懸命な取り組
みが行われています。
被災地の皆さんが安心して

なつてまいりました。現在、
黒潮町においても東日本大震
災を教訓として、また、厳し
い想定を示されながらも一人
の犠牲者も出さない事を目標
に防災計画の見直し、津波ハ
ザードマップの作成など、関
係機関と連携を図りながら防
災体制の強化に取り組んでお
ります。

震災以降、改めて住民同士
のつながりが見直される中で、
地域の防災力を高めるために
は、今後においても自主防災

生活できる環境が整備される
よう、私たちも微力ではあり
ますが支援をしていかなけれ
ばなりません。

黒潮町は、震災、少子高齢
化、産業振興、中山間地域な
ど多くの課題を抱えておりま
す。私たちもこういった課題
解決に向け、また住民のご期
待に応えるためにより一層の
努力を重ねていく所存でござ
います。

昨年6月から議会の会議状
況がケーブルテレビで中継さ

組織の充実強化、防災研修会、
防災訓練等を継続して実施し
ていくことが大切であると感
じています。

本年も職員一丸となって課
題解決に全力で取り組んでま
いります。皆様におかれまし
ては変わらぬご指導を頂けま
すようお願い申し上げますと
ともに、皆様のご健勝、ご多
幸を祈念いたしまして新年の
ご挨拶とさせていただきます。
本年もどうぞよろしくお願
いいたします。

れようになり、多くの町民に
注目される機会が増えてまい
りました。私たち議員もこれ
まで以上に資質向上を目指し、
活動していかなければなりま
せん。

今後とも皆さまのご支援、
ご協力をお願い申し上げます
とともに、本年も皆さまにと
りまして幸せな年となります
よう心よりお祈りし、新年の
ごあいさつといたします。